

JA健康づくりハンドブック

～JAと共に地域の皆さまとこころ豊かに、健康で～

【健康増進活動読本ダイジェスト版】

第29回JA全国大会では、「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」をすすめることが定められています。

持続可能な農業を実践するためには、JA組合員・地域住民の方々に健康で元気に過ごしていただくことが大切であり、JA組合員等の方々が健康で農業に従事していただくことが日本の食糧問題の解決につながると考えられます。

そのためには、JAグループ全体として、JA組合員の健康に貢献し続ける体制・支援が重要であり、JA厚生連ではJA組合員等の健康を担う一員として、JA・連合会と連携しながら、貢献してまいります。



©よい食プロジェクト

1 最近、健診を受けていますか？

JA組合員の方々は、多くの場合、市町村国保が実施主体となる健診を受診しています。現在、市町村国保の健診受診率は他の保険者と比べ低い状況にあります。

特定健診の受診率は全体で55.6%（2019年度実績）となり、半数の方しか受診していない状況です。特に市町村国保の方が低く、受診率38.0%（2019年度実績）にとどまっています。



2 なぜ、健診（健康増進活動）を受けるのでしょうか？

その1 病気を早期に発見するため

毎年、健康診断を受診することにより、病気を早期に発見でき、すぐに治療を受けることができます。早期に治療することで、重症化を防ぎ、早い回復が見込まれます。

その2 体の経年変化に気づくため

毎年定期的に受けることにより経年的な変化に気づくなど、病気になる前の早い段階で予防策に取り組むことができます。

JA厚生連では『予防は治療に勝る』をスローガンに、JA組合員をはじめ地域住民の方々に対し、健診活動をはじめとする健康増進活動を実施しています。



写真提供：JA熊本厚生連

3 JA厚生連を知っていますか？

困窮した地域の医療を守るために、医療を必要とする人たちが自発的に集まり、つくられた協同組合です。

医療を提供する組合として活動が開始してから100年が経過しており、長年にわたりJA組合員・地域の人々が日々健やかに生活できるよう保健・医療・高齢者福祉事業に取り組んでいます。

患者の命を守る
医療事業



高齢者のくらしを支える
介護事業



住民の健康を守る
保健事業

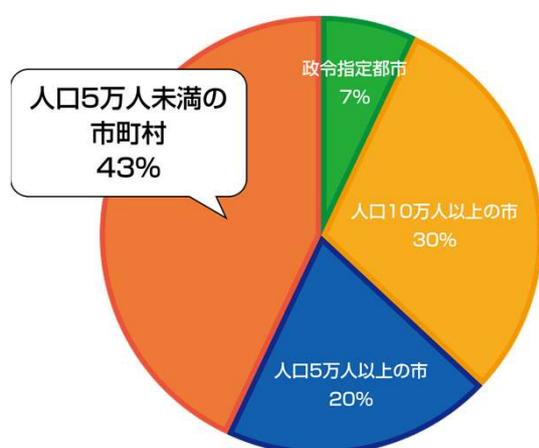
その1 JA厚生連は公的医療機関です

JA厚生連は**日本赤十字社**、**社会福祉法人恩賜財団済生会**とともに公的医療機関に定められている団体です。保健、予防、医療関係者の養成、へき地における医療など積極的に担うとともにこれらの業務を一体的に運営することが求められています。

その2 JA厚生連は日本のへき地医療を担っています

人口5万人未満の市町村に多くのJA厚生連病院が位置しており、公的医療機関として、日本のへき地医療や健康増進活動を担っています。

■ JA厚生連病院の立地条件



「今も昔も農村への巡回健診を行っています」 写真提供：JA長野厚生連

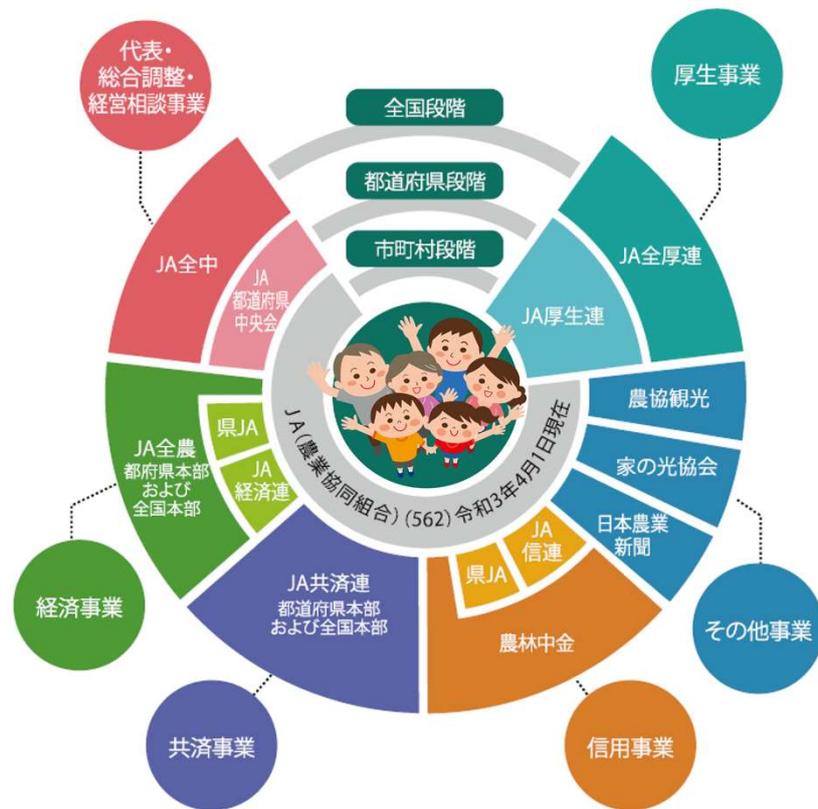
その3 JA厚生連は健康増進活動に力を入れています

JA厚生連はJA組合員・地域住民の健康を守るため、疾病の早期発見・早期治療を目的に、生活習慣病検診、人間ドック等の健康増進活動を積極的に行っています。

健診と併せて、健康講話や料理教室等の健康教育活動も実施しています。健康教育活動は、JAと連携し、JA組合員・地域住民の方々に健康への気づきにつながるよう各地で取組んでいます。



4 JA組合員・地域住民の健康を守るためJA・連合会等と連携を行っています



例1 JA女性部組織

JAいわて中央の女性部組織の方々で結成された“いきいきチャレンジの会”は、仲間と一緒に人間ドックを受診し、その結果をもとにJA厚生連の保健師、管理栄養士と一緒に健康づくりに取り組んでいます。

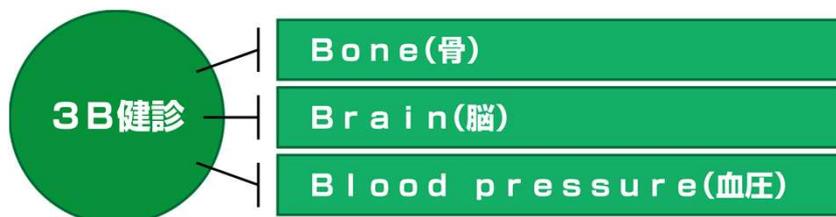


「JAいわて中央女性部の皆さま」 写真提供：JA岩手厚生連

例2 JA直売所出荷者（農産物直売所に出荷している農業者の皆さま）

JA兵庫厚生連ではJA直売所出荷登録者を対象に、認知症や物忘れ、動脈硬化による脳梗塞や心筋梗塞、転倒骨折による寝たきり等の予防を目的に**3B健診**を無料で実施しています。

■ 3B健診とは



例3 JAの定期貯金・定期積金で乳がん検診

岐阜県の7JA・JA岐阜信連では、JA岐阜厚生連と連携し、「乳がん検診クーポン付き定期貯金・定期積金」を販売しています。

同取組みは、乳がん検診の受診率向上と早期発見をめざす「ピンクリボン運動」に賛同し協力するもので、定期貯金・定期積金契約者の方に岐阜県内7か所のJA岐阜厚生連病院で無料の乳がん検診を受けられるクーポンをお渡しします。



JA岐阜厚生連 パンフレットのの一部

例4 地産地消等への取組み

JA山梨厚生連では、人間ドック受診者へ昼食時に、県産野菜を中心に新鮮な野菜をバイキング形式で提供しています。同バイキングは県内のJA直売所を中心に集荷し、また、大きさ・形にばらつきがあり、市場に出荷されない野菜についても積極的に仕入れています。



「山梨県産野菜のサラダバー」 写真提供：JA山梨厚生連

例5 農業者・女性部健診（担い手農家のための人間ドック）

令和元年度より、JA島根厚生連は「担い手農家の方が健康で農業生産に携われる」ことを目的に、農業従事者や女性部員を対象に、独自メニューで「農業者・女性部健診」を実施しています。



写真提供：JA島根厚生連



これら以外でも全国のJA厚生連では健康増進活動を実践する一員として、積極的に健診や健康教育などに取組んでいます。

JA全厚連・JA厚生連など詳細は、ホームページをご覧ください。

JA全厚連 (<http://www.ja-zenkouren.or.jp>)

